



OPROARTS Designer ユーザーガイド (Excel ブラウザマッピング/ ヘッダー明細/一覧)

Ver.1.1

改訂履歴

| Ver. | 改訂日 | 改訂内容 |
|------|------------|--------------------------|
| 1.0 | 2019/07/22 | 新規作成 |
| 1.1 | 2020/12/24 | 「3.2 テンプレートの新規作成」の注意点を追記 |

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記していません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、OPROARTS Designer をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

| 表記方法 | 内容 |
|--------------|-------------------------------------|
| 注意 | 操作上の注意事項について記載しています。 |
| Point | 操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。 |
| 参照 | 本書における参照先を記載しています。 |
| [] | ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。 |
| 「 」 | システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。 |

目次

| | |
|-----------------------------|-----------|
| 1. はじめに | 5 |
| 1.1 ヘッダー明細型 | 5 |
| 1.2 一覧型..... | 7 |
| 2. 全体の流れ | 8 |
| 3. テンプレートのデザイン | 9 |
| 3.1 デザインの作成 | 10 |
| 3.2 テンプレートの新規作成 | 11 |
| 3.3 基本操作の紹介..... | 12 |
| 3.4 実際に作る | 14 |
| 4. 項目のマッピング | 18 |
| 5. 出力方法 | 22 |
| 5.1 HTML ページからの出力 | 22 |
| 5.2 API からの出力 | 23 |

1. はじめに

ここでは OPROARTS Designer で出力する帳票を作成するにあたって重要となる CSV データと帳票の対応、また「ヘッダー明細型」「一覧型」の概念について説明します。

1.1 ヘッダー明細型

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を 2 つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with columns A through J and rows 1 through 32. The spreadsheet is divided into two main sections: a header section (rows 2-15) and a detailed table section (rows 16-22). The header section contains information such as '見積書' (Quotation), '見種番号' (Quotation No. Q-0001), '発行日' (Issue Date 2017/10/23), '送付先株式会社 御中' (Recipient Company), and '見積金額' (Quotation Amount 540,000). The detailed table section has columns for '商品コード' (Product Code), '商品名' (Product Name), '単価' (Unit Price), '数量' (Quantity), and '金額' (Amount). It lists five products, each with a unit price of 100,000 and a quantity of 1. The total amount is 500,000, plus 40,000 for consumption tax, totaling 540,000. A callout box on the right explains that the header section is the '非明細部' (Non-detailed part) and the table section is the '明細部' (Detailed part).

| 商品コード | 商品名 | 単価 | 数量 | 金額 |
|-------|-----|---------|----|---------|
| 00001 | 商品1 | 100,000 | 1 | 100,000 |
| 00002 | 商品2 | 100,000 | 1 | 100,000 |
| 00003 | 商品3 | 100,000 | 1 | 100,000 |
| 00004 | 商品4 | 100,000 | 1 | 100,000 |
| 00005 | 商品5 | 100,000 | 1 | 100,000 |

合計 500,000
消費税 40,000
総合計 540,000

(備考)

OPROARTS Designer からこのヘッダー明細型帳票を作る場合

非明細部: 1 行の CSV データ

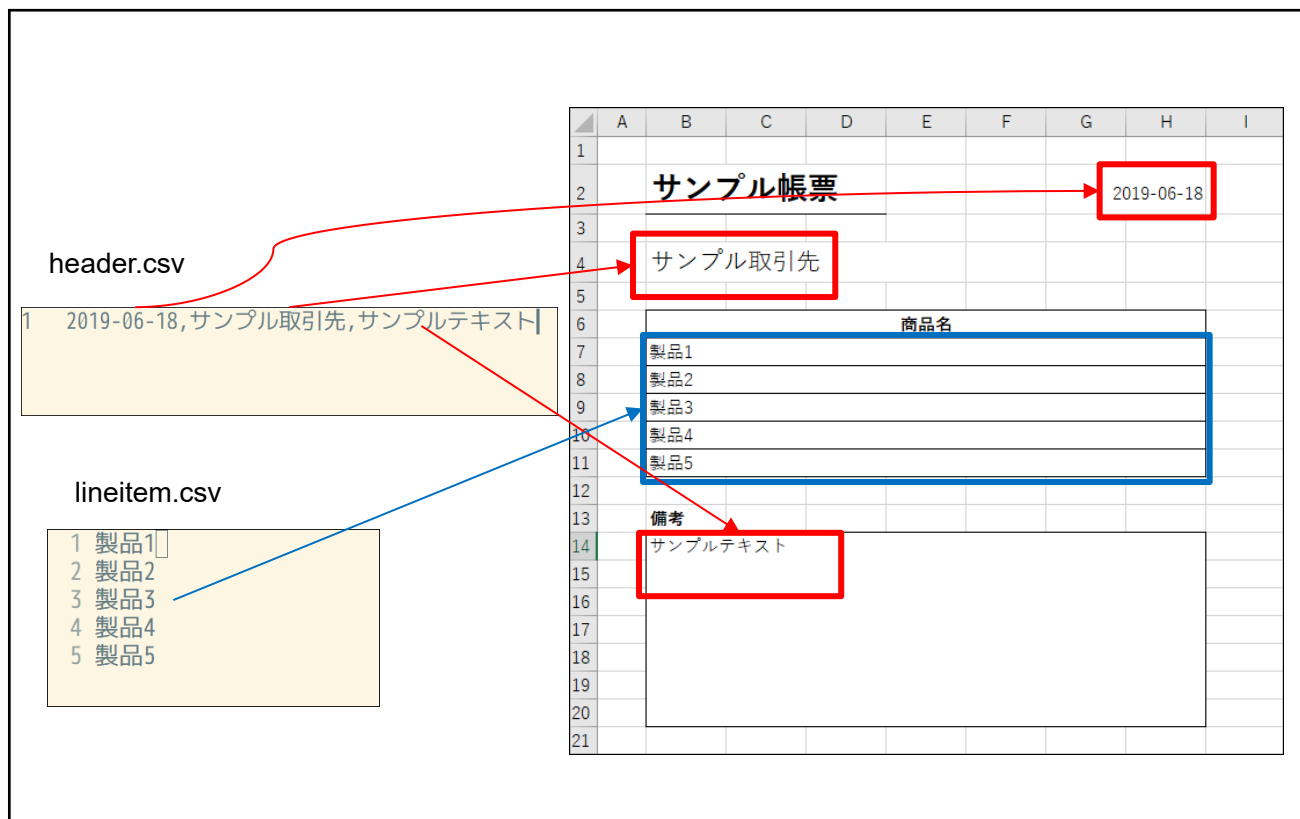
明細部: 複数行の CSV データ

を用いてそれぞれの部分を埋めることになります。

(例)

次の CSV データからは、以下のような帳票が出力されます。

(赤枠で囲まれた部分が header.csv の情報、青枠で囲まれた部分が lineitem.csv の情報です)



1.2 一覧型

ヘッダー明細型とは異なり、一覧型は帳票のヘッダー/フッター部分に動的な値を表示しません。
明細部分のみのヘッダー明細型帳票とも言えます。

OPROARTS Designer から一覧型帳票を作る場合、複数行の CSV データを用いて帳票が出力されます。

(例)

次の CSV データからは、以下のような帳票が出力されます。

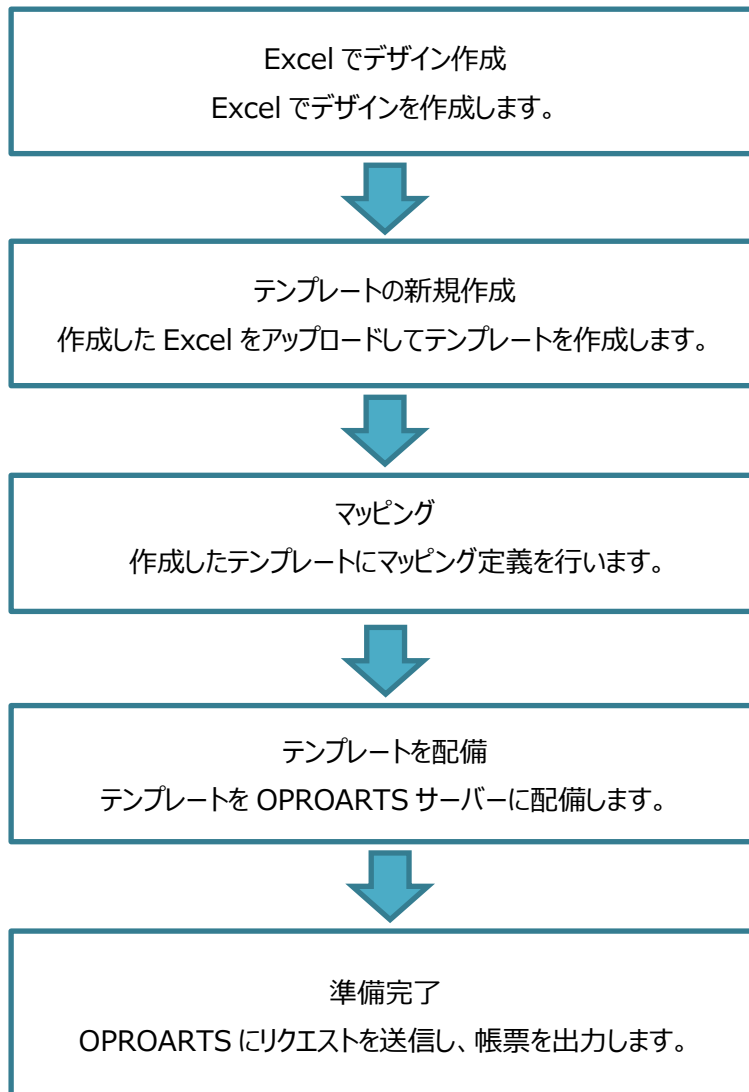
(赤枠で囲まれた部分が list.csv の情報です)

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|----|---|--------|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | |
| 2 | | サンプル帳票 | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 4 | | 商品名 | | | | | | | |
| 5 | | 製品1 | | | | | | | |
| 6 | | 製品2 | | | | | | | |
| 7 | | 製品3 | | | | | | | |
| 8 | | 製品4 | | | | | | | |
| 9 | | 製品5 | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | |

※一覧型帳票はヘッダー明細型帳票からヘッダー/フッター部分の動的項目を除いたものなので、本ユーザーガイドではヘッダー明細型の説明のみとします。一覧型帳票を作成する場合は、ヘッダー明細型の明細部分の説明をご参照ください。

2. 全体の流れ

OPROARTS Designer では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Designer でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | |
|----|---|----------|---|---|---|---|---|------------|---|--|
| 1 | | | | | | | | | | |
| 2 | | サンプル帳票 | | | | | | 2019-06-18 | | |
| 3 | | | | | | | ① | | | |
| 4 | | サンプル取引先 | | ② | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | |
| 6 | | 商品名 | | | | | | | | |
| 7 | | 製品1 | | | | | | | ③ | |
| 8 | | 製品2 | | | | | | | | |
| 9 | | 製品3 | | | | | | | | |
| 10 | | 製品4 | | | | | | | | |
| 11 | | 製品5 | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | |
| 13 | | 備考 | | | | | | | | |
| 14 | | サンプルテキスト | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | ④ | | | |
| 16 | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | | |

| 番号 | 内容 |
|----|----------|
| ① | 帳票出力した日付 |
| ② | 取引先名 |
| ③ | 商品名 |
| ④ | 備考 |

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。

任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。

Excel での帳票デザインの詳細はこちらをご参照ください。

https://s.oproarts.com/help/contents/ja/designer.html#designer_livexlsff

3.1 デザインの作成

デザインはすべて Excel 上で行います。書式設定や数式、マクロなどをそのまま引き継ぐことができます。ここでは、以下のように Excel シートを作成します。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|----|---|---------------|---|---|---|---|---|------|---|
| 1 | | | | | | | | | |
| 2 | | サンプル帳票 | | | | | | (日付) | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 4 | | (取引先名) | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | |
| 6 | | 商品名 | | | | | | | |
| 7 | | (商品名) | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | |
| 9 | | 備考 | | | | | | | |
| 10 | | (備考) | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | |

デザインを作成する際の注意点は以下 2 点です。

- ・ アップロードできるセル数は 2500 セルまでですので、セルはできるだけ結合してください。
- ・ デザインに表示される領域は、Excel 上で[Ctrl]+[End]キーを押下した時に選択されるセルと A1 セルの間の範囲になります。この範囲に不要なセル（空欄の行や列）がある場合はできるだけ取り除いてください。
- ・ 数式があるセルにマッピングしても、出力時は数式が保持されます。

その他の制限事項については、以下のヘルプのセクション

- ・ Designer, Document Designer for Office 全てに対する制限
- ・ Live Excel の制限(Live for Salesforce, Live Excel) ※Office アドインではなく、ブラウザマッピング版に記載しております。

[Excel/Word/PowerPoint 帳票に関する動作要件と制限事項](#)

3.2 テンプレートの新規作成

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。

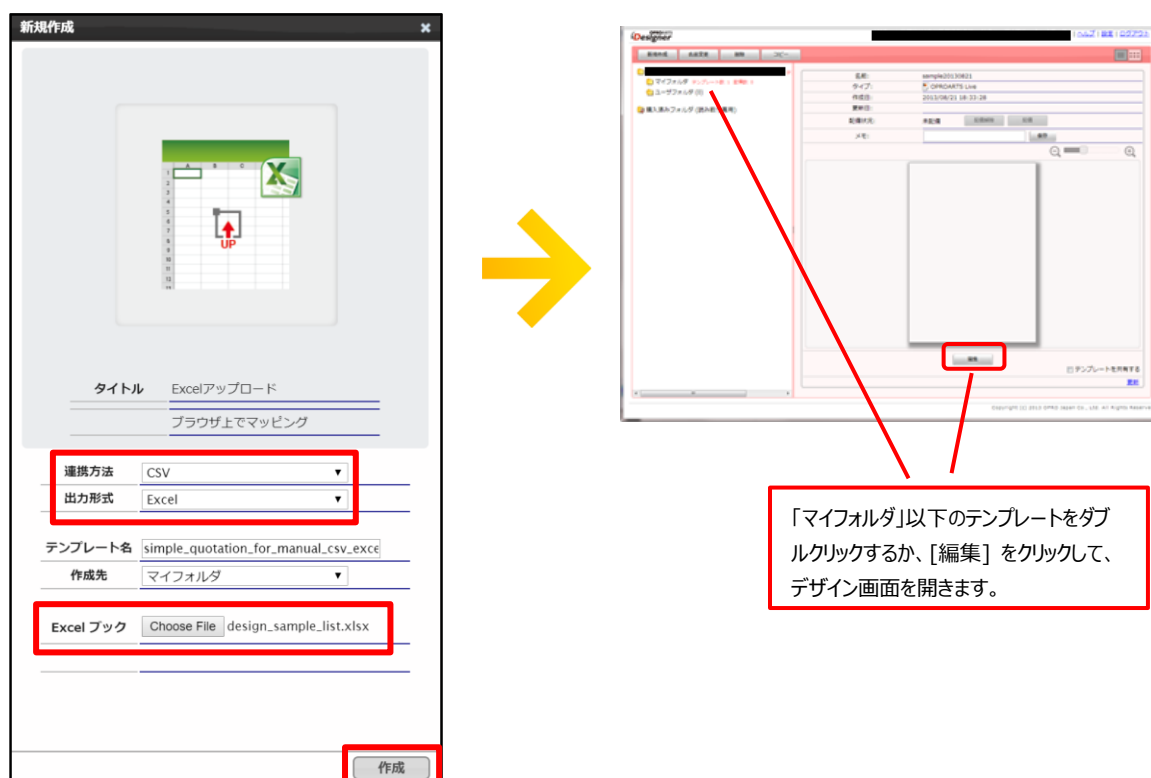


ここでは、[Excel] タブで「Excel アップロード」を選択します。
連携方法「CSV」、出力形式「Excel」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連続していない

Excel ブックに作成したデザインを選択し、[作成] をクリックします。



※デザイナー上では、Excel の編集を行うことはできません。デザインが完了している Excel をアップロードしてください。

※Excel をアップロード後、シート名を変更することができません。ご注意ください。

※ViewFramer、D3Worker と連携する場合は、連携方法で「ViewFramer/D3Worker」を選択してください。その後の設定方法は、「CSV」を選択した場合と変わりません。

3.3 基本操作の紹介

使用する Excel のセル座標に対して、データの挿入を行う仕組みとなっています。そのため、セルの書式設定、関数、マクロ、図形、グラフ、画像がお使いいただけます。グラフや図形など、デザイナー上には表示されないコンポーネントがありますが、出力時には表示されます。

データマッピングを行うセルを指定するため

1. レイアウトのセルをクリックして選択し、
2. 画面左の[内容][タイプ]の「動的」を選択します。

静的 …… 固定の文言を表示します。

動的 …… CSV データを表示します。



また、作成したテンプレートの編集画面でレイアウトをクリックした時に設定できる機能は以下です。

| 名称 | 機能 |
|--------------------|---|
| 非表示行を処理しない | チェックをいれた場合、非表示行は削除される。 |
| 明細の出力行がない場合そのままにする | チェックをいれた場合、明細が一つもない時でも空の明細行を表示する。 |
| 条件付き書式を明細に合わせ調整する | チェックをいれた場合、Excel に設定されている条件付き書式を明細すべてに適用する。 |
| データが空の場合はセルを空で上書く | チェックをいれた場合、データが空の時にはセルを空にする。 |
| メタデータ | 選択した属性を動的に変更することができる |

セルをクリックした時に設定できる機能は以下です。

| 名称 | 機能 |
|----------------|--|
| タイプ | 「動的」を選択すると、外部データを表示します。 |
| この行をバンドとする | 選択されているセルを含む行を明細行とします。 |
| この行をグループヘッダとする | 選択したセルを含む範囲をグループヘッダ・フッタとして指定します。 この設定を行うと、マッピング画面でグループキーとなる項目を指定することができ、グループキーの切り替わるタイミングでヘッダ・フッタが表示されます。 バンドの上方をグループヘッダ、下方をグループフッタとして自動的に設定します。 |
| この行をグループフッタとする | 同上 |
| グループフッタで改ページ | 「この行をグループフッタとする」の設定がされている時のみ指定できます。この設定を行うと、グループフッタが切り替わるタイミングで「改ページの挿入」設定がされます。 |
| 高さの自動調整 | 「折り返して全体を表示する」設定を行います。1 行の文字数を指定する必要があり、等幅フォントのみ対応しています。 |
| 書き込みのデータ型 | 指定したデータ型で Excel に挿入します。セルの書式設定の変更はいたしません。 |
| コンポーネントグループ | マッピング画面のコンポーネントグループの命名を行います。基本的には自動的に設定されます。 |

3.4 実際に作る

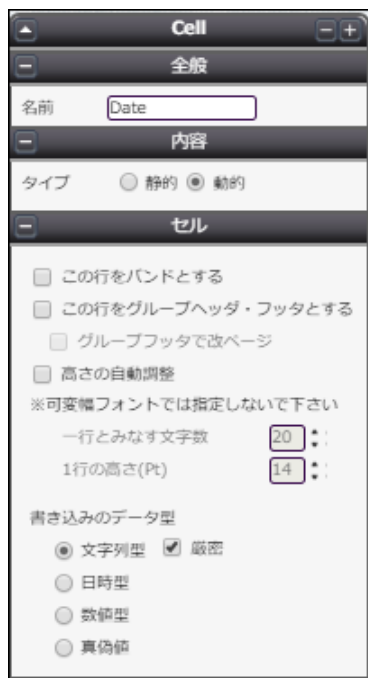
ここでは、実際にデータマッピングを行うセルの指定をします。

1. 日付

帳票を出力した日付を表示したいセルをクリックします。



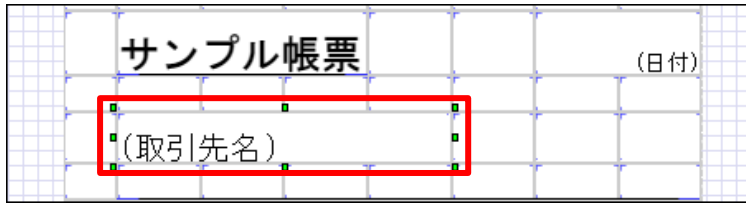
以下のようにプロパティを設定します。



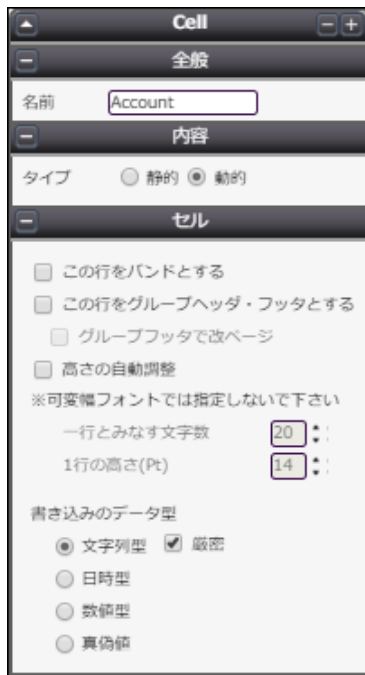
- 名前 : Date
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

2. 取引先名

取引先名を表示したいセルをクリックします。



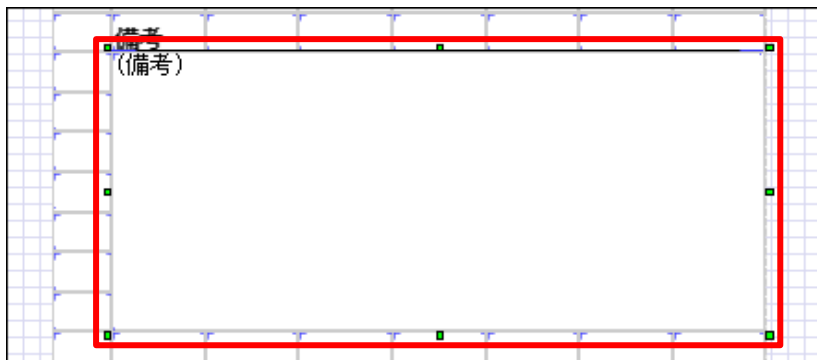
以下のようにプロパティを設定します。



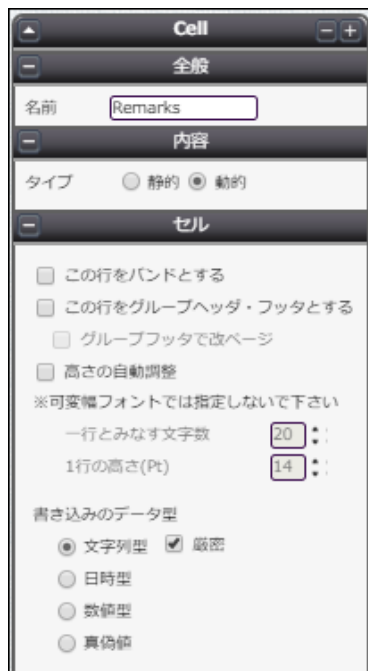
- 名前 : Account
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

3. 備考

備考を表示したいセルをクリックします。



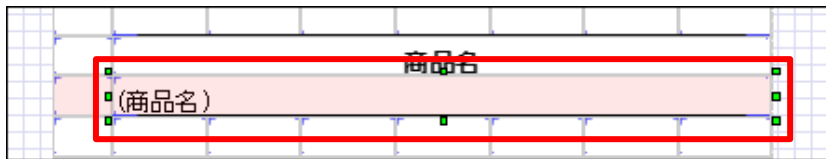
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Remarks
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

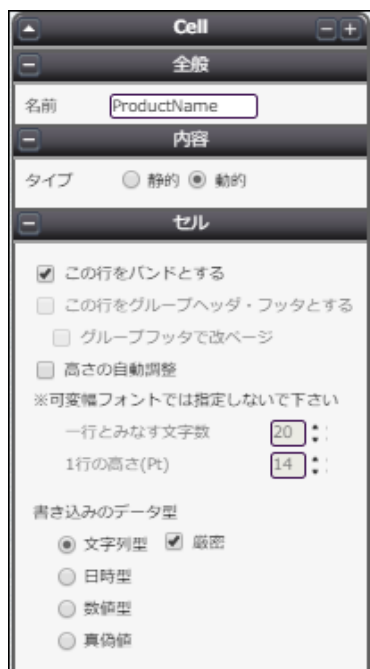
4. 商品名

商品名を表示したいセルをクリックします。



以下のようにプロパティを設定します。

この行は明細行となるので、「この行をバンドにする」にチェックを入れます。



- 名前 : ProductName
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

以上の設定が終わったら、保存ボタン(📄)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。

4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに CSV フィールドをマッピングします。

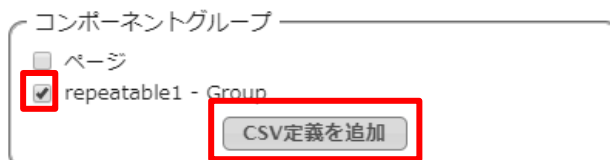
1. 画面左上の「コンポーネントグループ」内、「ページ」と「repeatable1」の両方について、CSV 定義を追加します。



「ページ」にチェックを入れ、[CSV 定義を追加]をクリックします。



「repeatable1」についても同様にします。



2. それぞれのコンポーネントグループについて、CSVデータのフィールドを決定します。
[フィールドを定義]をクリックし、[追加]ボタンでフィールドを追加します。

ページ

1. ページ 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

CSV 定義

区切り記号付き 固定長

フィールド区切り記号 ↓

文字列の引用符 ↓

先頭行を無視する

データ出力条件

フィールド名 データタイプ 形式

| | | |
|-------------|------|--|
| Date | text | |
| AccountName | text | |
| Remarks | text | |

追加 削除 上へ 下へ 形式の読み込み... サンプルCSV

repeatable1

2. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

CSV 定義

区切り記号付き 固定長

フィールド区切り記号 ↓

文字列の引用符 ↓

先頭行を無視する

データ出力条件

フィールド名 データタイプ 形式

| | | |
|-------------|------|--|
| ProductName | text | |
|-------------|------|--|

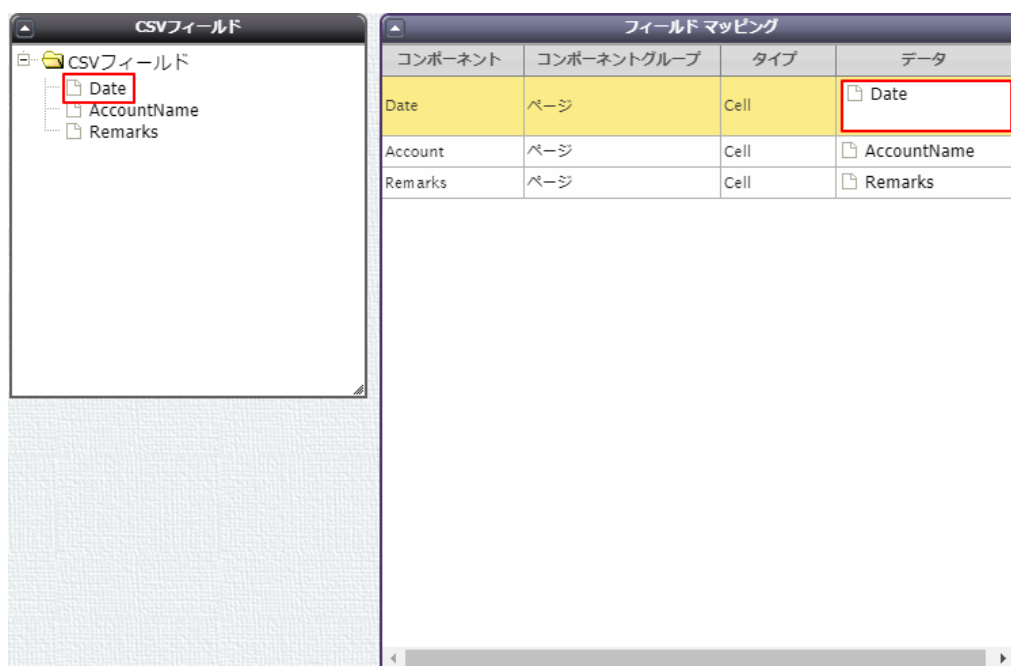
追加 削除 上へ 下へ 形式の読み込み... サンプルCSV

3. フィールドを追加したら[マッピング]をクリックし、それぞれのフィールドについてテンプレートのどの動的項目と対応するかを決定します。

設定したいフィールドの行をクリックして、画面左側の「CSV フィールド」から対応させたい項目を「データ」欄にドラッグ&ドロップします。

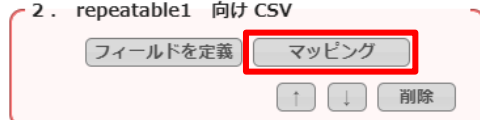
ページ

1. ページ 向け CSV



repeatable1

2. repeatable1 向け CSV



4. マッピングが終わったら、[保存]をクリックします。

CSV定義

1. ページ 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

2. repeatable1 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

リセット 保存

5. テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。

テンプレート配備ウィザード

テンプレートの配備

テンプレートは保存されましたが、帳票出力にはまだ反映されません。反映するには「配備」ボタンをクリックしてください。
配備ボタンのクリックで、「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」配下に [] テンプレートをコピーします。
配備することによって、下記のフォーム、ボタンから出力できるようになります。

ドキュメント生成フォーム

配備

※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

5. 出力方法

OPROARTS にリクエストを送信して、帳票を出力する方法を説明します。

5.1 HTML ページからの出力

1. テンプレート配備ウィザードの「ドキュメント生成フォーム」の各項目を設定し、[HTML 取得]ボタンをクリックします。

ドキュメント生成フォーム

このフォームを使ってOPROARTSサーバへリクエストを行います。パラメータを編集してリクエストを行い、ドキュメントをプレビューしてください。OPROARTSへのリクエスト形式、OPROARTSからのレスポンスについては、以下を参照ください。
OPROARTSへのリクエスト形式、OPROARTSからのレスポンスについて

| OPROARTS認証情報 | | | |
|--------------|----------|-------|-----------|
| パラメータ | 意味 | 値 | 備考 |
| CID | 顧客ID | | ※ 必須パラメータ |
| UID | ユーザID | | ※ 必須パラメータ |
| UPW | ユーザパスワード | | ※ 必須パラメータ |

| 基本 | | | |
|-------|------|----------------------------|-----------|
| パラメータ | 意味 | 値 | 備考 |
| OP | 操作指示 | dlxm: Excelドキュメントのダウンロード ▼ | ※ 必須パラメータ |

| テンプレート | | | |
|--------|------------|--|--------------------------------------|
| パラメータ | 意味 | 値 | 備考 |
| TP1 | テンプレート名 | live_simple_quotation_for_manual_kn_excel.xlsx | ※ 必須パラメータ(テンプレート名に接頭辞live_を付与してください) |
| TD1.1 | テキストデータセット | Choose File header.csv リセット | |
| TD1.2 | テキストデータセット | Choose File lineitem.csv リセット | |

完了待ち自動更新

送信 **HTML取得**

閉じる

2. ダウンロードされた HTML をブラウザで開きます。
CID/UID/UPW を入力し、[送信]をクリックすると帳票出力ができます。

| OPROARTS パラメータ送信サンプル | | |
|--|--|---|
| OPROARTSへのリクエストを実行するフォームのサンプルです。各パラメータの意味については、 OPROARTS readme をご覧ください。 | | |
| OPROARTS認証情報 | | |
| パラメータ | 値 | 役割 |
| CID | <input type="text"/> | CIDを入力してください。 |
| UID | <input type="text"/> | UIDを入力してください。 |
| UPW | <input type="text" value="....."/> | UPWを入力してください。 |
| 基本 | | |
| パラメータ | 値 | 役割 |
| OP | <input type="text" value="dlxm"/> | dlxm:Excelブックダウンロード, mixm:Excelブック添付メール |
| テンプレート | | |
| パラメータ | 値 | 役割 |
| TP1 | <input type="text" value="live_simple_quotation_for_manual_kn_excel.xls"/> | テンプレート名 |
| TD1_1 | <input type="text" value="Choose File"/> header.csv | TP1で使用するCSVデータを選択します。 |
| TD1_2 | <input type="text" value="Choose File"/> lineitem.csv | TP1で使用するCSVデータを選択します。 |
| 完了待ち自動更新 | | |
| パラメータ | 値 | 役割 |
| RF | <input type="text" value="-1"/> | 更新間隔 (秒) |
| <input type="button" value="Submit"/> | | |

5.2 API からの出力

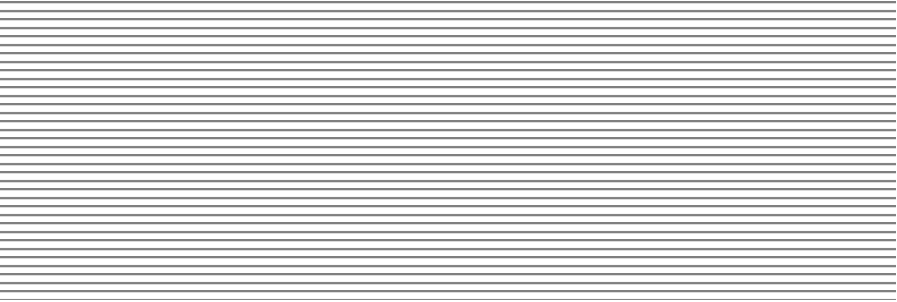
OPROARTS へのリクエストは、API からも可能です。

詳細は、以下の URL をご参照ください。

[OPROARTS へのリクエスト形式、OPROARTS からのレスポンスについて](#)

[OPROARTS API ドキュメント \(日本語\)](#)

[OPROARTS API 本体のダウンロード](#)



OPROARTS Designer
ユーザーガイド
(Excel ブラウザマッピング/
ヘッダー明細/一覧)

